

## (8) 自動車事故対策に関する広報活動

### (中期目標)

機構の全国組織を活用し、関係機関との連携の下、自動車損害賠償保障制度と機構業務について効果的に広報活動を行う。

### (中期計画)

事故防止、被害者援護及び自動車損害賠償保障制度に関し組織一体となった広報活動を実施します。

交通安全フェア等における、国等と協力した周知宣伝活動やインターネット、マスメディア等を活用した広範な広報活動を積極的に実施します。

### (年度計画)

後席シートベルト着用推進・飲酒運転の根絶等の事故防止対策事業や被害者への各種情報提供等の被害者援護対策事業、さらには自動車損害賠償保障制度の周知など機構業務の認知度向上のため、交通安全フェア等各種イベントへの参画、国・地方自治体等の関係機関と連携した広報活動、また、ポスター、パンフレット、インターネット、マスメディア等を活用した国民・関係機関(者)への周知宣伝活動により、積極的な広報活動を推進します。

### 年度計画における目標設定の考え方

事故防止、被害者援護及び自動車損害賠償保障制度に関し組織一体となった広報活動を実施します。

交通安全フェア等における、国等と協力した周知宣伝活動やインターネット、マスメディア等を活用した広範な広報活動を積極的に実施することとした。

### 当該年度における取組み及び中期目標達成に向けた次年度以降の見通し

#### 1) 平成19年度における取組み

19年度は、本部において、(社)日本自動車会議所主催の「交通安全アクション」「交通安全キャンペーン」、内閣府、交通安全フェア推進協議会主催の「交通安全フェア」に出展したほか、新たに中央労働災害防止協会主催の「安全健康快適フェア」に出展し、参加体験型として当機構業務の一部である運転適性診断を実施した。また、会場でのビデオ放映、パネルの展示、ポスターの掲示、リーフレットの配布等により機構業務及び自動車損害賠償保障制度等の周知宣伝活動を行った。後席シートベルト着用推進・飲酒運転の根絶については上記イベント等で周知を図るとともに、全国交通安全運動実施計画の項目として定め指導講習等で周知を図った。

次年度も引き続きこれらのイベント等に積極的に参画し、周知宣伝活動を展開していく。

機構ブースへの来場者

	平成18年度実績	平成19年度実績
交通安全アクション	400人	461人
交通安全フェア	499人	568人
交通安全キャンペーン	88人	85人
東京モーターショー	開催無し	1,425,600人

(アクション、フェア、キャンペーンについては体験者数、モーターショーは会場来場者数)

【交通安全アクション(江東区青海「パレットタウン」)  
5月12日、13日】



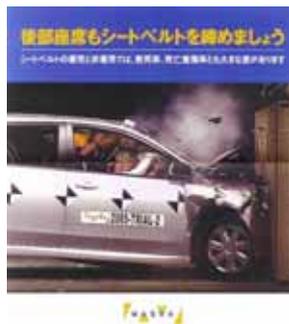
【交通安全フェア(文京区「後樂園」)9月15日、  
16日】



【安全健康快適フェア2007(江東区「東京ビッグサイト」)5月16日~18日】



【後席シートベルト着用推進・飲酒運転根絶の周知】



## 2) 中期目標達成に向けた次年度以降の見通し

引き続き、後席シートベルト着用推進・飲酒運転の根絶等の事故防止対策事業や被害者への各種情報提供等の被害者援護対策事業、さらには自動車損害賠償保障制度の周知など機構業務の認知度向上のため、交通安全フェア等各種イベントへの参画、国・地方自治体等の関係機関と連携した広報活動、また、ポスター、パンフレット、インターネット、マスメディア等を活用した国民・関係機関(者)への周知宣伝活動により、積極的な広報活動を推進する。

その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報